

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	メディアリテラシーC		
英文授業科目名	Media Literacy C		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	吉浦 裕		
居室	西6 - 611		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>コミュニケーションは、個人間の日常会話から組織の情報伝達、社会への情報発信など多岐にわたっており、人間の最も普遍的で重要な活動です。人間のコミュニケーションは、コンピュータネットワークや携帯電話網を用いたWeb, blog, SNS, 電子メール, 電子協働システムによって急速に拡大し多様化しており、さらに、これらのコミュニケーションツールはWeb 2.0と呼ばれる新しい段階を迎えています。</p> <p>メディアリテラシーCの主題は、これらのコミュニケーションツールを理解し使いこなすこと、さらには、新しいコミュニケーションツールを自分で発想し研究・開発する能力を身につけることです。</p> <p>そのために、現在の様々なコミュニケーションツールの基礎となっているWebシステムの理解を目標とします。加えて、今後ますます重要となるネットワークプログラミングの基礎を習得することも目標とします。</p>
---

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>なし</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b></p> <p>メディアリテラシー, アルゴリズムとデータ構造, 数理モデル概論</p>
---

<p><b>【教科書等】</b></p> <p>授業開始時に指示します。</p>
--

**【授業内容とその進め方】**

前半では、コンピュータネットワークを中心とする様々なコミュニケーションツールの原理、機能、発展の講義を通じて、コミュニケーションツールの利用と発想のための幅広い知識を学びます。後半では、様々なコミュニケーションツールの基礎となるWebシステムを取り上げ、ホームページの具体的な作成実習を通じて、利用と発想のための素養、ネットワークプログラミングの基礎を身につけます。

(1) コミュニケーションツールの講義

- ・コンピュータネットワークの発展と関連技術 (blog, SNS, P2P, Web2.0など)
- ・インターネットの技術概要
- ・Webシステムの構造と機能

(2) コミュニケーションツールの実習

- ・ホームページ掲載までの全体的な流れ
- ・HTMLによるテキストページ, 画像の使用
- ・CGIによる様々な対話機能およびセキュリティ

**【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】**

(a) 評価方法

授業参加度, レポート, 作成したホームページの総合評価とします。

(b) 評価基準

以下の到達レベルを持って合格の最低基準とします。

- ・インターネットとWebシステムの技術概要を理解している。
- ・自分のホームページをHTMLとCGIで作成できる。

**【オフィスアワー：授業相談】**

適宜相談に応じますが、メールでアポイントを取ること。

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【学生へのメッセージ】

講義では、コミュニケーションツールについて広い視野を身につけてください。

ホームページの作成実習では、基礎的な課題を出しますが、余力のある人には高度な技術を自分で学び「おもしろい作品」を作することを期待します。

ネットワークプログラミングの重要性を理解してほしいと思います。

### 【その他】